

さくほ 議会だより



アルストロメリア



おべんきょう たのしみだなあ

3月定例会のあらまし	2P
平成23年度 当初予算	3P
一般質問（6人が町政を質す）	4P～
総括質疑 請願・陳情	7P
委員会活動から	8P～
第1回 臨時議会・一部事務組合 議会報告	11P
しらかば	12P

平成23年4月28日

第24号

発行：佐久穂町議会
 議長 友野辰五郎
 編集：議会広報編集調査特別委員会
 印刷：(有)東城印刷佐久穂工場
 〒384-0697
 長野県南佐久郡佐久穂町
 大字高野町569
 TEL 0267-86-2525
 FAX 0267-86-4935

平成23年

3月定例会

3月11日に発生しました東日本大震災、長野県北部地震で被災された皆様にお見舞いを申し上げます。また亡くなられた皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

一日でも早い復興ができますことを心から望みます。

佐久穂町議会

条例

住民基本台帳カード発行手数料を徴収するための改正。老人保健会計、下水道会計を廃止するための改正の他8件の改正案が提出されました。

育児休業に関する改正が2件です。

当初予算

一般会計をはじめ11件が提出されました。

平成23年度予算は元気を育てる予算と名付けられ、平成22年度で元気の種をま

いた事業を、切れ目なくつなぐ予算編成となつていきます。

雇用対策、町活性化事業などは引き続き実施し、統合小中学校整備事業では、教育専門指導員を配置し、

補正予算

平成22年度一般会計、特別会計8件が提出されました。

今回の補正内容の多くは事業の確定による増減と基金の積み増しなどです。

一般会計は1,599万7千円の増額補正。特別会計は8会計で7,831万円の増額補正です。



3月定例会

なお、収入で地方交付税を前年比1,500万円減額としていますが、他の交付金も含め、今回の震災復興に国の予算がシフトされるので、大幅な減額が予想

その他の議案

されます。

特別会計予算では、国保事業、介護保険事業、簡易水道事業、老人保健施設事業、後期高齢者医療事業が増額となっています。

請願

1件でした。

環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)に、交渉参加しないことを求めるものです。

陳情

2件でした。

公共建築物の設計、監理に関する依頼度の規定の見直し、最低制限価格設定を求めるものです。

一般質問

6人が行いました。

新年度を迎えるにあたり、役場組織機構、健康、福祉教育、医療、地域振興、農業振興などについての、町の取り組みや姿勢をたずねました。

追加議案

最終日に1件追加提出されました。町の辺地に係る総合整備計画の変更をするものです。

議員発議

2件行いました。

請願の採択によるものと、議会の委員会条例を改正するものです。



平成23年度 当初予算

一般会計当初予算 72億6,100万円

特別会計(9)予算 34億7,403万円

病院事業会計予算 15億9,803万円

平成23年度一般会計、当初予算は、次のとおりとなりました。

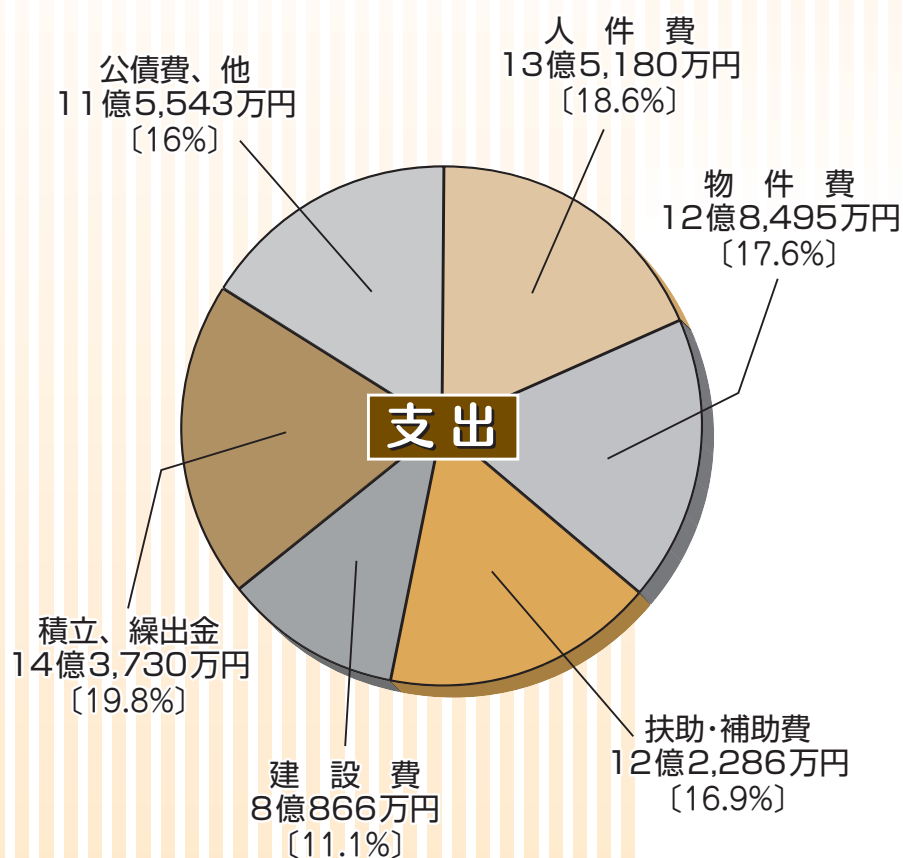
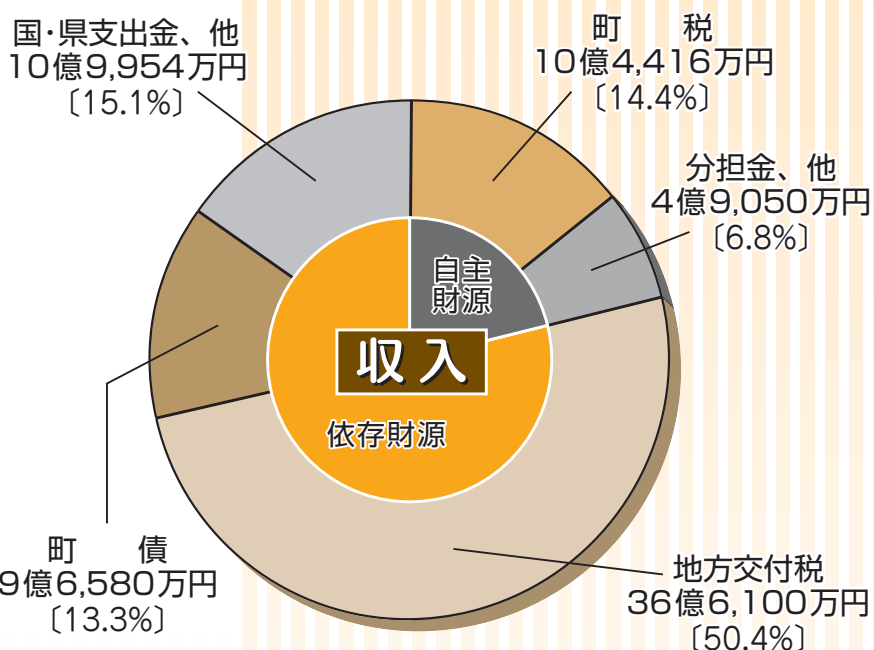
収入・支出ともに、72億6,100万円です。

「元気を育てる予算」とし雇用・産業振興、中小企業・農商工業振興、地域活性化、統合小中学校整備、健

康予防対策事業等の内容となっています。

国民健康保険と老人保健施設の会計に、約1億円の貸付を計上しています。

障がい者福祉施設完成で、普通建設事業費は、約1億円の減額となりました。



予算
収入・支出総額
72億6,100万円

デマンドタクシーの運行を 佐久病院までひろげられないか

総務課長 佐久圏域でコミュニティバスを検討中

岡 部 学



問 デマンドタクシーの運行を、佐久病院まで拡げられないか。

総務課長 商工会の利用データを収集し、動向を注視してきました。

運行日数219日に対し延べ乗客数は629人であり、佐久病院まで1日平均2.78人という結果で、新路線を導入するまで至っていないとの判断です。現在、佐久圏域で、コミュニティバスなどの運行を検討しています。

問 学校統合に向け、今からスクールバスの運転手を確保し、安定した運行体制を準備していく必要があると思うが、対応は。

教育委員会事務局長 保護者の皆さん、学校とともに充分協議をして、町当局と教育委員会で決定していく考えです。

問 新年度予算の重点施策は。



スクールバス

町長 統合小中学校整備による、教育専門指導員の配置により、ソフト面での環境整備に力を入れています。事務事業の見直しに努め、新しい施策を積極的に展開し、町の元気を育てる意気込みで編成しました。

問 職員配置に当たって、町の考えは。

町長 将来的な町の施策を見据えた中で、職員個々の適正や能力などを判断して職員配置をしています。

一般質問

全国学力、学習状況調査の 目的と活用は

教育長 教育及び教育施策の成果と課題を検証し改善を図ります

井出 和 廣



問 調査結果と、その活用は。

教育長 調査結果は、日々の教育指導が一定の成果をあげているが、知識や技能を活用する力は充分身につけていません。各学校における意欲的な改善支援策として使用します。

問 学習塾へいけない児童生徒への対策は。

教育長 学習塾に行かなくても学力が身につくよう、子どもの実態をもとに確かな学力がつくよう授業づく

りをしています。今後の課題です。

問 児童・生徒の体力向上対策は。

教育長 自分の体力の課題を見つけ、その体力を高めるため、みずから考え実践し、その成果を確認する取り組みを実施しています。

町道進入路の一部拡幅について
問 上畑信号機東側入口の一部拡幅は出来な

町長 川上佐久線の計画により、この付近の道路は大きく変わると予想されます。管理す



上畑信号機進入路

環境建設課長 上畑天神町線は、重要路線であると認識しています。141号線の歩道の改修要望などとおわせて県に要望します。

「子ども手当」の現物給付は 考えられるか？

町長

「子ども、子育て新システム」で
給食費、利用券などを検討中



岡部 勝一

問 「子ども手当」の、現行
現金給付と、さらに保育料、
給食費などの現物給付が考
えられるか？

町長 現段階では、交付金
の具体的使途が明確ではあ
りませんが、各種事業に活
用できると考えます。

問 財源についても、地方
負担が必要になるか？

町長 全国町村会では、全
額国庫負担であり、地方負
担分は筋違いであると申し
入れています。



入園児

問 今年7月24日正午より
地上デジタル波に変わり、
現在のアナログ放送が見ら
れなくなります。

地デジ化の進捗状況と、
高齢者、独居者世帯への対
策を聞きたい。

町長 共同視聴施設は、完
了しています。今後は的確
に対応し、各種対策を講じ
ていきます。

総務課長 新年度は、臨時
職員による訪問活動で対応
する考えです。

問 児童・生徒の携帯電話
の安全使用について、どの
ような指導ができるか。

教育長 フィルタリング機
能の活用と、その必要性を
パソコン教室等で指導して
います。

町奨学金の充実を

問 町独自の奨学金の有
効活用と、返済期間の延
長を検討できないか。

教育長 22年度より6ヶ
月分一括貸付けをしてい
る。返済期間延長は、基
金不足が生じてしまいま
す。

シカ・イノシシ被害だけでなく 小動物被害の早急対策が必要

町長 防護さくに加えて箱わなを増やしたい

小林 守正



問 シカ・イノシシ被害だ
けでなく、ハクビシン等小
動物の増加により、早急の
対策が必要と思うが。

町長 従来の防護さくに加
えて、箱わなを揃えて、猟
友会の協力を得て広めてい
きたいと考えます。

問 補助金をだして、一人
でも多く狩猟免許取得を目
指してはどうか。

町長 わなや猟銃の免許取
得者に対し、1万円を交付
しています。

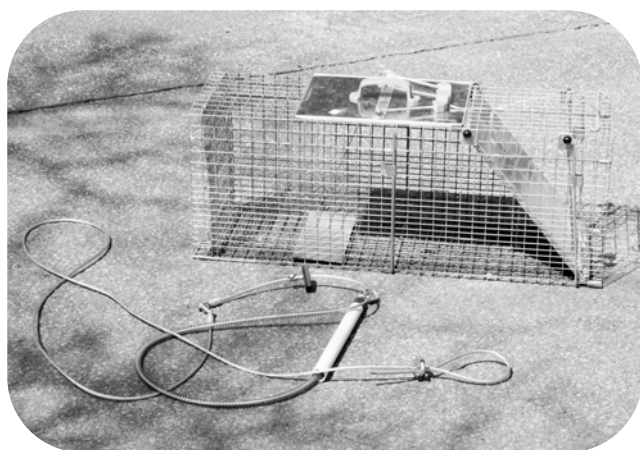
問 鳥獣害対策の実績は。

産業振興課長 シカは60
0頭、南佐久6町村で4、
000頭は超えています。
ネットさく1万8千m、
2分の1の補助金401万
円です。

これからの農業につ
いて生産・加工・販売の
充実が必要

問 生産・加工・販売につ
いての方策は。

町長 アンテナさくほ事業
で、先進的
な事例を研
究・検討し、
農産物の産
地化、加工・
販売へ結び
つく6次産
業化を期待
しています。
県、JA
と連携を図
りながら、
元気になる
町を目指し
たいと考え
ています。



2種類のわな

2012年度からの介護保険 制度改定について

町長

国の動向次第では検討が必要になって
くることもあります

井出 清嗣



指定居宅介護支援事業所

町長 緊急経済対策として10%プレミアム商品券の販売で、住宅の増改築など、商品券での支払いにより10%の助成と同じ効果を生むものと期待しています。

問 補助金の代わりに商品券を交付する方法も、研究してはどうか。

町長 高齢化の進行で要介護認定者がふえ、介護給付費の大幅増に伴い、現在の保険料では給付費が賸じ

問 介護保険料が大幅に上がるというわけだが、どのくらいか。負担増を抑えるための取り組みは。

町長 当面としては現行どおりとして、生活援助を打ち切る考えはありません。

問 「健康と福祉の町」づくりに取り組んでいる町として、生活援助の打ち切りはすべきでないと考えられるが。

れず、基金を取り崩して対応しています。したがって、保険料が現状より上がることは避けられません。
第5期介護保険事業計画が策定されないと、具体的な保険料額は言えません。

住宅リフォーム 助成制度について

問 創設の考えは。

町長 耐震化リフォーム、バリアフリーのリフォームについても、補助事業を導入しています。

問 補助金の代わりに商品券を交付する方法も、研究してはどうか。



町長

子ども課新設で具体的施策は 人口1万5千人に一人でも近づける ため次世代育成に力を入れます

高見澤 春野

決に努め、統一した方針とクラブごとの指針を検討していきます。

子育て支援が重要施策なので、低額の利用料にしています。

ケース会議は必要、不可欠と考えます。専門性の高い事例については、関係機関と連携し解決していきます。

包括支援センター 移転について

問 なぜ今移転なのか。だれのために、どんなメリットがあるのか。

町長 サービス利用者と接する機会が多くなり、よりきめ細かなサービスが提供できます。サービス利用者に一番メリットがあります。

問 スタッフや利用者さんの声は聞いたのか。

住民福祉課長 決まっています。決まっています。



やちほ 地域包括支援センター

町長

問 指針やマニュアル、指導員同士のケース会議の定例化、適正な利用料の検討等必要では。

学童クラブの充実

子どもをめぐるとさまざまな課題（発達障害・引きこもり・虐待など）への対応にも大きな役割をします。

いろいろな課題の解

総括質疑

問 リフト浴槽導入時期と現状は。(老健施設)

答 平成10年と15年に購入したもので、破損腐食もあり、新機種に更新します。

問 老健施設起債の繰上償還の理由は。

答 平成2年に、千曲病院東側に老人保健施設を建設したときの起債です。

残額1億1,000万余を繰上償還することで、利子保証金3,600万円余が免除となります。

問 社会福祉協議会への指定管理委託料1,295万円の積算根拠は。

答 委託する施設は3施設であり、それぞれの施設ごとに維持管理料を算出し、町負担分は原則3割とし、明らかに町が使うものについては、町が10割負担しました。

問 デジタルオルソ化業務の内容は。

答 航空写真の撮影を、課税するための図面に直す作業のことです。

問 エルタックスの会費の支払いは、法的義務があるのか。

答 地方税ポータルシステム業務のことであり、町県民税の賦課業務するうえで導入は必須です。

問 アクセス道路第4工区の物件補償費の内訳は。

答 住宅3戸と、店舗1戸で、うち1件は小屋も含まれます。

ほかに住宅補償1戸と小屋、車庫等移転費は24年度予算となります。

問 インタラクティブ業務委託料の内容は。

答 より質の高い外国語指導助手A-LTを派遣する民間会社であり、町内小学校に配置するため、年額974万円で契約しました。

問 千曲病院の特別交付税は、1病床当たり交付金として、いくら交付されているのか。

答 1病床当たり82万円で66床に5,412万円、特別交付税として入っています。

問 保健衛生費繰出金9,618万円が、千曲病院に3項目に振り分け支出されているが、根拠は何か。

答 病院事業補助金と、企業債償還金と、建設改良費に充てる出資金に支出しました。

問 千曲病院予算書の医療費用と、介護費用の案分基準となる数字に3科目相違があるが、何故か。

答 案分基準は、同額でなければなりません。チェックミスです。補正予算で対応します。

問 民生費の中の、報償費敬老者祝品99万4千余計上されているが、昨年と相違があるのか。

答 祝品の基準は昨年と同額です。昨年より対象者が49人増となりました。

問 商工会活動補助金が前年比200万円減の理由は。

答 佐久穂町商工会活動事業補助金交付要綱により、補助しています。商工会とも協議し、200万円減額しました。

請願

環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉参加反対に関する請願

請願者

長野県佐久市猿久保八八

JA佐久浅岡

代表理事組合長

榎澤今朝三

浅井正昭

原則として、関税撤廃の例外措置を認めないTPP協定については、長野県はもとより国内農業、ただでな

陳情

国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書

社団法人

長野県建築士事務所協会

会長 新井典夫

佐久支部長

土屋長命

公共建築物の設計、工事監理業務の発注にあたって

く、地域経済に与える影響は甚大であり、食糧自給率の低下等による国民の食への不安の増大。多面的機能や農業・食品関連産業等の生産額減少による雇用機会の喪失や、それに伴う地域経済や集落機能の崩壊が懸念される。

よって、国においては、TPP協定の十分な検証と国民が議論のもと、平成22年3月に閣議決定した「新たな食料・農業・農村基本計画」における持続的な農業・農村の振興や食料自給率の向上、食料安全保障と両立しないTPP協定交渉に参加しないよう、強く求めます。

は、建築士法の規定に基づく、新しい基準(告示第15号)によって行うことを求める陳情。

また発注の際、従来から慣例的に行われている「依頼度」の規定については、規定を見直し、削除し、明確に発注内容を業務委託契約書等において示すことを求める。

(継続審査)

最低制限価格の設定に関する陳情書

社団法人

長野県建築士事務所協会

会長 新井典夫

佐久支部長

土屋長命

公共建築物の設計、工事監理業務等を入札により発注する場合には、最低制限価格を発注予定額の85%程度に設定することを求める陳情。

(継続審査)



活動から

総務文教常任委員会

平成22年度 国勢調査

平成22年度は、5年ぶりの国勢調査が行われ、前回比910人の人口減少となりました。7%の減少率となり、長野県(2%)の3.5倍です。

平成22年度 補正予算

平成22年度一般会計補正予算が、全員賛成で可決されました。
1,599万7千円の増額。
収入の主なものは、開発公社解散による財産寄付として、3,130万円。支出として、国民健康保険特別会計貸付金に、4,600万円などです。

統合小中学校 建設用地決定



新統合小・中学校建設に向け、用地取得が決定しました。

宅地2筆

田畑41筆 計43筆です。

現、佐久中学校敷地に隣接する19,551㎡です。

取得予定価格は、

1億5,523万円です。

本格的な建設に向け、見守っていききたいと思っています。

.....

統合に向けた各小・中学校間の調整のため、教育専門指導員1名の採用を決めました。

大変な作業になると思いますが、より良い学校作りに努力願います。

各小中学校へ扇風機導入!!!



固定式扇風機

昨年の夏の酷暑で、児童生徒への暑さ対策として、各学校へ扇風機が設置されることになりました。
移動式70台
固定式100台です。
約208万円の予算です。
地球温暖化の悪弊が、おもわぬ所に出てきた感があります。
できる所から、CO2削減にも取り組みたいものです。

委員会

社会福祉常任委員会

障がい者福祉施設「陽だまりの家」竣工

共同作業所「しらかば」と「ほほえみ」を統合し新たな就労支援活動を行う施設が、4月1日オープンしました。

海瀬四ツ谷の国道299号線から、茂来館への上り口、旧佐久穂町老人センター跡地です。

これまでの、二つの共同作業所の事業を引き継ぎ、新たに相談など地域の障がい者生活支援事業を行います。

施設を正面から見ると、左右に二つの建物が連結しています。向かって右側の大きな建物が、共同作業所の入る就労支援施設



陽だまりの家

で、左側の小さい建物が、相談やタイムケアなどを行う地域活動支援施設です。

建物の財源の55%が、県産材利用補助金で、可能な限り木材を利用して造られました。床には桧、壁の下側にはカラ松が用いられ、木のぬくもりに包まれています。

運営は、町の指定管理者制度により、民間の福祉事業者が委託されています。



調理室

町の福祉施設を 指定管理者に委託

平成23年度、町の福祉施設の多くは、これまでの事業の継続となっています。

「さやか」「こまどり」などの高齢者福祉施設、四ツ谷に新設の障がい者福祉施設の運営は、指定管理者制度により、それぞれ社会福祉協議会、ジェイエー長野会に委託となりました。現在それぞれの施設で働く職員は、そのまま継続して雇用されます。

介護の ニーズ調査

平成23年度は、3年ごとに見直しがされる介護保険制度の3年目にあたり、平成24年度からの事業計画策定の年です。新たな事業計画策定のため、介護のニーズ（求められているもの）調査が行われます。

国保税の引き上げ が避けられない

国保会計は、ここ数年赤字が続く、基金からの繰り入れで運営してきました。しかし、基金も底をつき、国保税の引き上げが避けられなくなりました。急激な負担増を緩和するため、一般会計からの借入れを行い、数年かけて収支の均衡を図っていきます。

訂正とおわび

前号の、訪問看護ステーションの記事で、社会福祉協議会に委託していたとありましたが、訪問看護事業は社協が独自運営していたものです。訂正をし、おわび致します。



委員会活動から

経済環境常任委員会



平成23年度 主な事業

- 八千穂簡水のうち松井地区について、老朽化のため全面改修を行います。
- 下海瀬・新田地区のコミブラ（下水道）は4月から南環に移管されます。
- 商工関係では、商品券のプレミアム分2,000万円、太陽光発電システム助成に500万円、従業員を新規採用した事業所に20人分として600万円交付などが主なものです。
- 農業関係では、鳥獣防護柵の550万円、アンテナさくほの特産品開発に700万円、匠の技伝承事業に78万円などです。
- 林業では、シカ駆除報奨金600頭分485万円、県森林税活用事業の、里山集約化に4地区で156万円、間伐助成に4.5haで202万5千円などです。
- 観光、道路関係はほぼ例年並みの事業です。

農業委員改選について

7月改選の農業委員の定数は24人で、内訳は選挙選出17人、農業団体推せん3人、議会推せん4人となっています。

共同園芸施設について の意見

高野町、勝負沢地区などにある、園芸用ハウス19棟について、委員会として意見を付して予算に賛成しました。

事業開始から30年近く経る中で、今後の運用としては、町の支払っている借地料は、できるだけすみやかに町の負担を減らしていくよう調整を計っていきたいというものです。



共同園芸ハウス

平成23年度 第1回 臨時議会

第1回臨時議会
が、1月31日に
開かれました

議案5件。

条例改正、一般会計及び特別会計と病院会計が内容です。

● 条例改正2件

老人福祉センター、デイサービスセンターの管理を、いずれも指定管理者が行うとするもの。

● 一般会計

緊急経済対策として交付金の配分に伴う1億9,483万円の増額補正。

● 老人保健施設特別会計

備品購入等805万円の増額補正。

● 病院事業会計

交付金配分に伴い、耐震補強工事等1,400万円の増額補正。

審議の結果、全員賛成で原案可決しました。

一部事務組合

議会報告

佐久水道 企業団

平成23年度
第1回定例会

一、条例改正2件
給水人口及び一日最大給水量の変更と、水道事業区域の編入に関するもの。

二、平成22年度補正予算事業の見直し及び決算に伴う修正補正。

三、平成23年度水道事業会計予算について。

四、一般質問は3人でした。

提出された案件は、原案どおり可決されました。



八千穂高原別荘の水道管布設替場所

佐久平環境 衛生組合

平成23年度
第1回定例会

一、条例改正
特殊勤務手当の支給に関するもの。

二、平成22年度補正予算各事業の精査による、補正。

三、平成23年度会計予算について。

提出された案件は、原案どおり可決されました。



南佐久環境 衛生組合

平成23年度
第1回定例会

一、平成22年度一般会計補正予算
各事業の精査により、増額補正。

二、平成22年度公共下水道事業会計補正予算
各事業の精査により、減額補正。

三、平成23年度会計予算
公共下水道事業特別会計予算について。

四、条例改正
議会常任委員会を、2委員会とするもの。

提出された案件は、原案どおり可決されました。

愛しき花 石井 忠雄 トルコギキョウ



戦後最悪の東日本大震災、震災に巻き込まれた数多くの皆さん、県内では栄村の皆さんに、心よりお悔やみと、お見舞いを申し上げます。ただただ頑張れとしか言えない自分に、もどかしさを感じております。

長野県の切花生産量の第4位が、トルコギキョウです。旧佐久町内では、トルコギキョウの生産者が2、3人位しかいなかった昭和60年頃、生産に着手した。当時は、良き指導者もなく、

生産者間でも、どうしたら良いか手さぐりの状態でした。なにしろ水が必要、毎日多量の水をくれろ、ハウス内に水を引き込めと言われて行った。良いわけがない。ハウス内の地温は下がる。地温を上げるためハウスを閉めておく。そして次の日も同じ事をする。だが、それを打破する術もない。そんな状態で作り始めたトルコギキョウ。自分はサラリーマン、昼間の管理は女房まかせ。苦勞もあったと思う。しかし女房い



見事なトルコギキョウ

わく、良いトルコギキョウが出来るまで絶対に止めないの言葉で今まできた。とにかくトルコの花はやさしく愛しい。栽培当時から苗は自分で作ろうと奮闘した。種を選ぶにしても目移りする程の種類、色がある。良いと思ひ苗を作り植えてみたら、丈もとれず思つても出ない。とても出荷できるものではない。毎年毎年四苦八苦をしながらであった。最近では生産者も増え、JAの良き指導者もあり、生産者間の研修、視察等を重ねる中、今では自分のものになり、楽しくトルコギキョウの生産に取り組んでいる。もちろん当初からの苗作りも良くなり、すべての苗を作り上げている。どの様な作物を生産するにも同じだろうが、トルコギキョウの生産はあまく見てはいけない。わずかな事で生育が止まり、葉やけ、花やけ、花しみ、害虫、灰カビ病等が一夜にして出てしまう。その様な事に注意をしながら、老後の楽しみとし、新規栽培者とも連携をとりながら、最高の花を作り上げる。

2年間の 編集を終えて……

議会改選後、2年間の編集が終わりました。特別委員会として位置づけられた、編集委員会として最初の任期でした。

「読みやすく」「親しまれる」をモットーに定例会終了後、できるだけ早い時期に発行を目標として、編集をしてきました。

反省する点はいくつかありますが「楽しみに見えます」の声にはげまされてきました。今号で私達の任期が終わります。ご協力有難うございました。今後ともよろしくお願い致します。



編集委員長	小林 守正
副編集委員長	高見澤 春野
編集委員	今井 邦三
編集委員	井出 和廣
編集委員	浅井 正昭
編集委員	岡部 勝一



さくほ 議会だより



アルストロメリア



おべんきょう たのしみだなあ

3月定例会のあらまし	2P
平成23年度 当初予算	3P
一般質問（6人が町政を質す）	4P～
総括質疑 請願・陳情	7P
委員会活動から	8P～
第1回 臨時議会・一部事務組合 議会報告	11P
しらかば	12P

平成23年4月28日

第24号

発行：佐久穂町議会
 議長 友野辰五郎
 編集：議会広報編集調査特別委員会
 印刷：(有)東城印刷佐久穂工場
 〒384-0697
 長野県南佐久郡佐久穂町
 大字高野町569
 TEL 0267-86-2525
 FAX 0267-86-4935

平成23年

3月定例会

3月11日に発生しました東日本大震災、長野県北部地震で被災された皆様にお見舞いを申し上げます。また亡くなられた皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

一日でも早い復興ができますことを心から望みます。

佐久穂町議会

条例

住民基本台帳カード発行手数料を徴収するための改正。老人保健会計、下水道会計を廃止するための改正の他8件の改正案が提出されました。

育児休業に関する改正が2件です。

当初予算

一般会計をはじめ11件が提出されました。

平成23年度予算は元気を育てる予算と名付けられ、平成22年度で元気の種をま

いた事業を、切れ目なくつなぐ予算編成となつていきます。

雇用対策、町活性化事業などは引き続き実施し、統合小中学校整備事業では、教育専門指導員を配置し、

補正予算

平成22年度一般会計、特別会計8件が提出されました。

今回の補正内容の多くは事業の確定による増減と基金の積み増しなどです。

一般会計は1,599万7千円の増額補正。特別会計は8会計で7,831万円の増額補正です。



3月定例会

小中連携に力を入れるものです。

なお、収入で地方交付税を前年比1,500万円減額としていますが、他の交付金も含め、今回の震災復興に国の予算がシフトされるので、大幅な減額が予想

その他の議案

10件が提出されました。

統合小中学校用地の売買契約(19,551.91㎡)きめ細かな交付金事業でスクールバス2台の購入契約、老人福祉センター、町デイサービスセンター及び高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定などです。

追加議案

最終日に1件追加提出されました。町の辺地に係る総合整備計画の変更をするものです。

請願

1件でした。

環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)に、交渉参加しないことを求めるものです。

陳情

2件でした。

公共建築物の設計、監理に関する依頼度の規定の見直し、最低制限価格設定を求めるものです。

一般質問

6人が行いました。

新年度を迎えるにあたり、役場組織機構、健康、福祉教育、医療、地域振興、農業振興などについての、町の取り組みや姿勢をたずねました。

議員発議

2件行いました。

請願の採択によるものと、議会の委員会条例を改正するものです。



平成23年度 当初予算

一般会計当初予算 72億6,100万円

特別会計(9)予算 34億7,403万円

病院事業会計予算 15億9,803万円

平成23年度一般会計、当初予算は、次のとおりとなりました。

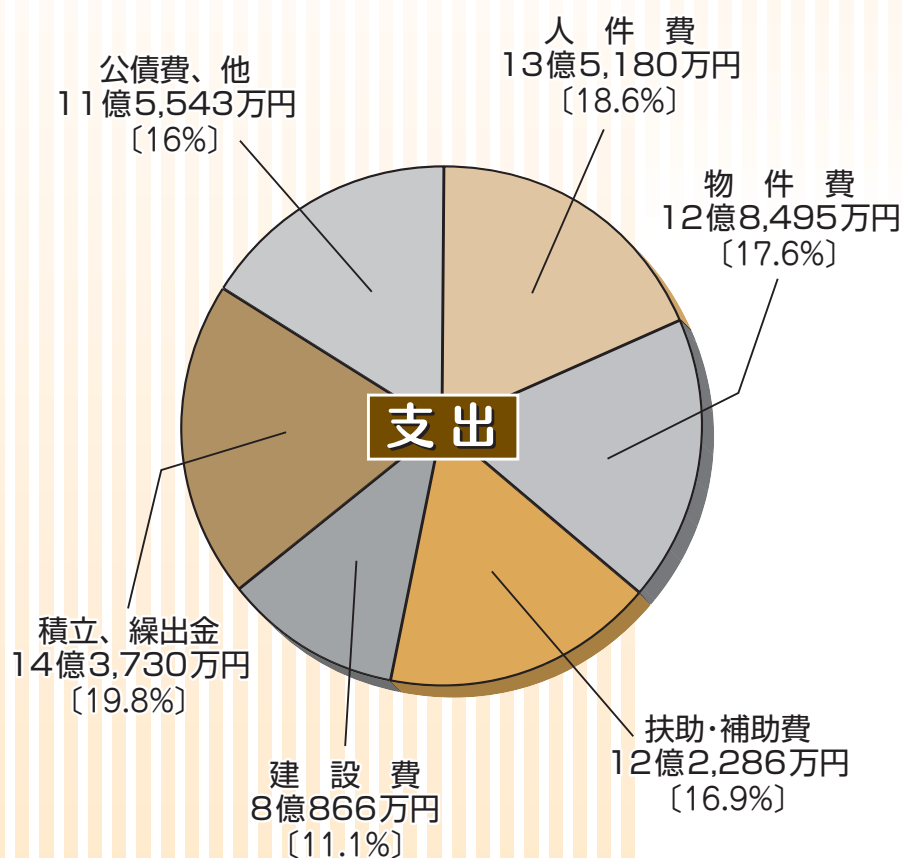
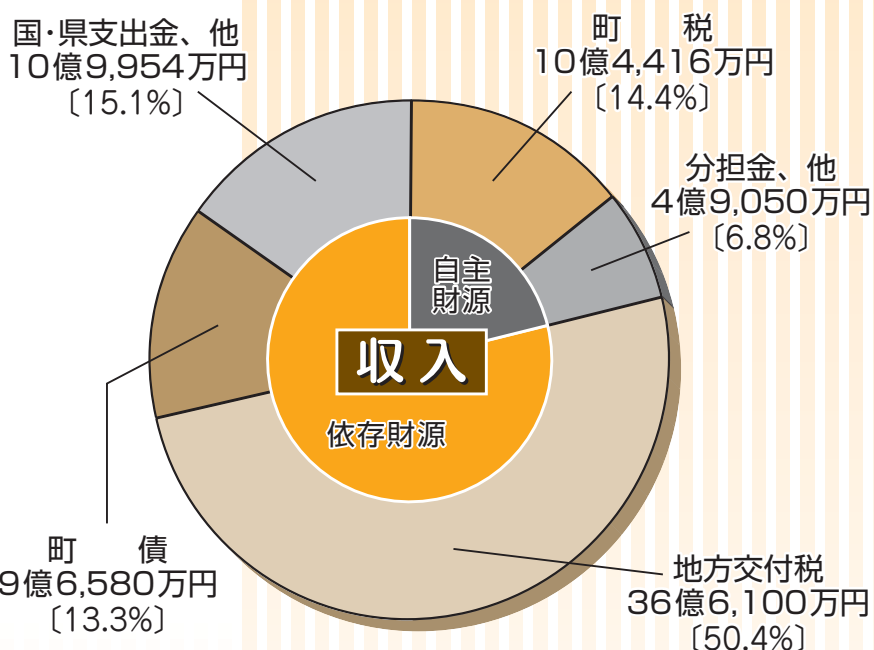
収入・支出ともに、72億6,100万円です。

「元気を育てる予算」とし雇用・産業振興、中小企業・農商工業振興、地域活性化、統合小中学校整備、健

康予防対策事業等の内容となっています。

国民健康保険と老人保健施設の会計に、約1億円の貸付を計上しています。

障がい者福祉施設完成で、普通建設事業費は、約1億円の減額となりました。



予算
収入・支出総額
72億6,100万円

デマンドタクシーの運行を 佐久病院までひろげられないか

総務課長 佐久圏域でコミュニティバスを検討中

岡 部 学



問 デマンドタクシーの運行を、佐久病院まで拡げられないか。

総務課長 商工会の利用データを収集し、動向を注視してきました。

運行日数219日に対し延べ乗客数は629人であり、佐久病院まで1日平均2.78人という結果で、新路線を導入するまで至っていないとの判断です。現在、佐久圏域で、コミュニティバスなどの運行を検討しています。

問 学校統合に向け、今からスクールバスの運転手を確保し、安定した運行体制を準備していく必要があると思うが、対応は。

教育委員会事務局長 保護者の皆さん、学校とともに充分協議をして、町当局と教育委員会で決定していく考えです。

問 新年度予算の重点施策は。



スクールバス

町長 統合小中学校整備による、教育専門指導員の配置により、ソフト面での環境整備に力を入れています。

事務事業の見直しに努め、新しい施策を積極的に展開し、町の元気を育てる意気込みで編成しました。

問 職員配置に当たって、町の考えは。

町長 将来的な町の施策を見据えた中で、職員個々の適正や能力などを判断して職員配置をしています。

一般質問

全国学力、学習状況調査の 目的と活用は

教育長 教育及び教育施策の成果と課題を検証し改善を図ります

井出和廣



問 調査結果と、その活用は。

教育長 調査結果は、日々の教育指導が一定の成果をあげているが、知識や技能を活用する力は充分身につけていません。各学校における意欲的な改善支援策として使用します。

問 学習塾へいけない児童生徒への対策は。

教育長 学習塾に行かなくても学力が身につくよう、子どもの実態をもとに確かな学力がつくよう授業づく

りをしています。今後の課題です。

問 児童・生徒の体力向上対策は。

教育長 自分の体力の課題を見つけ、その体力を高めるため、みずから考え実践し、その成果を確認する取り組みを実施しています。

町道進入路の一部拡幅について

問 上畑信号機東側入口の一部拡幅は出来な

町長 川上佐久線の計画により、この付近の道路は大きく変わると予想されます。管理す



上畑信号機進入路

環境建設課長 上畑天神町線は、重要路線であると認識しています。141号線の歩道の改修要望などとおわせて県に要望します。

「子ども手当」の現物給付は 考えられるか？

町長

「子ども、子育て新システム」で
給食費、利用券などを検討中

岡部 勝一



問 「子ども手当」の、現行
現金給付と、さらに保育料、
給食費などの現物給付が考
えられるか？

町長 現段階では、交付金
の具体的使途が明確ではあ
りませんが、各種事業に活
用できると考えます。

問 財源についても、地方
負担が必要になるか？

町長 全国町村会では、全
額国庫負担であり、地方負
担分は筋違いであると申し
入れています。



入園児

問 今年7月24日正午より
地上デジタル波に変わり、
現在のアナログ放送が見ら
れなくなります。

町長 共同視聴施設は、完
了しています。今後は的確
に対応し、各種対策を講じ
ていきます。

問 児童・生徒の携帯電話
の安全使用について、どの
ような指導ができるか。

教育長 フィルタリング機
能の活用と、その必要性を
パソコン教室等で指導して
います。

総務課長 新年度は、臨時
職員による訪問活動で対応
する考えです。

問 町独自の奨学金の有
効活用と、返済期間の延
長を検討できないか。

教育長 22年度より6ヶ
月分一括貸付けをしてい
る。返済期間延長は、基
金不足が生じてしまいま
す。

町奨学金の充実を

シカ・イノシシ被害だけでなく 小動物被害の早急対策が必要

町長 防護さくに加えて箱わなを増やしたい

小林 守正



問 シカ・イノシシ被害だ
けでなく、ハクビシン等小
動物の増加により、早急の
対策が必要と思うが。

町長 従来の防護さくに加
えて、箱わなを揃えて、猟
友会の協力を得て広めてい
きたいと考えます。

問 補助金をだして、一人
でも多く狩猟免許取得を目
指してはどうか。

町長 わなや猟銃の免許取
得者に対し、1万円を交付
しています。

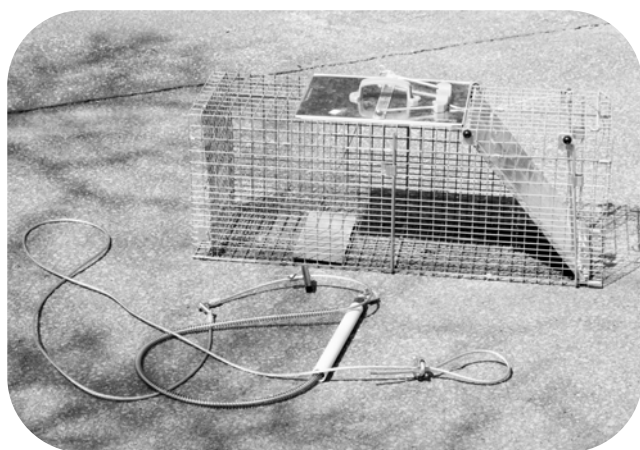
問 鳥獣害対策の実績は。

産業振興課長 シカは60
0頭、南佐久6町村で4、
000頭は超えています。
ネットさく1万8千m、
2分の1の補助金401万
円です。

これからの農業につ
いて生産・加工・販売の
充実が必要

問 生産・加工・販売につ
いての方策は。

町長 アンテナさくほ事業
で、先進的
な事例を研
究・検討し、
農産物の産
地化、加工・
販売へ結び
つく6次産
業化を期待
しています。
県、JA
と連携を図
りながら、
元気になる
町を目指し
たいと考え
ています。



2種類のわな

2012年度からの介護保険 制度改定について

町長

国の動向次第では検討が必要になってくることもあります

井出 清嗣



指定居宅介護支援事業所

町長 緊急経済対策として10%プレミアム商品券の販売で、住宅の増改築など、商品券での支払いにより10%の助成と同じ効果を生むものと期待しています。

問 補助金の代わりに商品券を交付する方法も、研究してはどうか。

町長 高齢化の進行で要介護認定者がふえ、介護給付費の大幅増に伴い、現在の保険料では給付費が賸じ

問 介護保険料が大幅に上がるというわれているが、どのくらいか。負担増を抑えるための取り組みは。

町長 当面としては現行どおりとして、生活援助を打ち切る考えはありません。

問 「健康と福祉の町」づくりに取り組んでいる町として、生活援助の打ち切りはすべきでないと考えられるが。

れず、基金を取り崩して対応しています。したがって、保険料が現状より上がることは避けられません。
第5期介護保険事業計画が策定されないと、具体的な保険料額は言えません。

住宅リフォーム 助成制度について

問 創設の考えは。

町長 耐震化リフォーム、バリアフリーのリフォームについても、補助事業を導入しています。

問 補助金の代わりに商品券を交付する方法も、研究してはどうか。



町長

子ども課新設で具体的施策は 人口1万5千人に一人でも近づける ため次世代育成に力を入れます

高見澤 春野

決に努め、統一した方針とクラブごとの指針を検討していきます。
子育て支援が重要施策なので、低額の利用料にしています。

問 なぜ今移転なのか。だれのために、どんなメリットがあるのか。

包括支援センター 移転について

ケース会議は必要、不可欠と考えます。専門性の高い事例については、関係機関と連携し解決していきます。

町長 サービス利用者と接する機会が多くなり、よりきめ細かなサービスが提供できます。サービス利用者に一番メリットがあります。

問 スタッフや利用者さんの声は聞いたのか。

住民福祉課長 決まっています。決まっています。

学童クラブの充実

問 指針やマニュアル、指導員同士のケース会議の定例化、適正な利用料の検討等必要では。

町長 いろいろな課題の解



やちほ 地域包括支援センター

総

括

質

疑

問 リフト浴槽導入時期と現状は。(老健施設)

答 平成10年と15年に購入したもので、破損腐食もあり、新機種に更新します。

問 老健施設起債の繰上償還の理由は。

答 平成2年に、千曲病院東側に老人保健施設を建設したときの起債です。

残額1億1,000万余を繰上償還することで、利子保証金3,600万円余が免除となります。

問 社会福祉協議会への指定管理委託料1,295万円の積算根拠は。

答 委託する施設は3施設であり、それぞれの施設ごとに維持管理料を算出し、町負担分は原則3割とし、明らかに町が使うものについては、町が10割負担しました。

問 デジタルオルソ化業務の内容は。

答 航空写真の撮影を、課税するための図面に直す作業のことです。

問 エルタックスの会費の支払いは、法的義務があるのか。

答 地方税ポータブルシステム業務のことであり、町県民税の賦課業務するうえで導入は必須です。

問 アクセス道路第4工区の物件補償費の内訳は。

答 住宅3戸と、店舗1戸で、うち1件は小屋も含まれます。

ほかに住宅補償1戸と小屋、車庫等移転費は24年度予算となります。

問 インタラクティブ業務委託料の内容は。

答 より質の高い外国語指導助手A-LTを派遣する民間会社であり、町内小学校に配置するため、年額974万円で契約しました。

問 千曲病院の特別交付税は、1病床当たり交付金として、いくら交付されているのか。

答 1病床当たり82万円で66床に5,412万円、特別交付税として入っています。

問 保健衛生費繰出金9,618万円が、千曲病院に3項目に振り分け支出されているが、根拠は何か。

答 病院事業補助金と、企業債償還金と、建設改良費に充てる出資金に支出しました。

問 千曲病院予算書の医療費用と、介護費用の案分基準となる数字に3科目相違があるが、何故か。

答 案分基準は、同額でなければなりません。チェックミスです。補正予算で対応します。

問 民生費の中の、報償費敬老者祝品99万4千余計上されているが、昨年と相違があるのか。

答 祝品の基準は昨年と同額です。昨年より対象者が49人増となりました。

問 商工会活動補助金が前年比200万円減の理由は。

答 佐久穂町商工会活動事業補助金交付要綱により、補助していません。商工会とも協議し、200万円減額しました。

請願

環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉参加反対に関する請願

請願者

長野県佐久市猿久保八八

JA佐久浅岡

代表理事組合長

榊澤今朝三

紹介議員 浅井正昭

原則として、関税撤廃の例外措置を認めないTPP協定については、長野県はもとより国内農業、ただでな

く、地域経済に与える影響は甚大であり、食糧自給率の低下等による国民の食への不安の増大。多面的機能や農業・食品関連産業等の生産額減少による雇用機会の喪失や、それに伴う地域経済や集落機能の崩壊が懸念される。

よって、国においては、TPP協定の十分な検証と国民が議論のもと、平成22年3月に閣議決定した「新たな食料・農業・農村基本計画」における持続的な農業・農村の振興や食料自給率の向上、食料安全保障と両立しないTPP協定交渉に参加しないよう、強く求めます。

(採択)

陳情

国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書

社団法人

長野県建築士事務所協会

会長 新井典夫

佐久支部長

土屋長命

公共建築物の設計、工事監理業務の発注にあたって

は、建築士法の規定に基づく、新しい基準(告示第15号)によって行うことを求める陳情。

また発注の際、従来から慣例的に行われている「依頼度」の規定については、規定を見直し、削除し、明確に発注内容を業務委託契約書等において示すことを求める。

(継続審査)

最低制限価格の設定に関する陳情書

社団法人

長野県建築士事務所協会

会長 新井典夫

佐久支部長

土屋長命

公共建築物の設計、工事監理業務等を入札により発注する場合には、最低制限価格を発注予定額の85%程度に設定することを求める陳情。

(継続審査)



活動から

総務文教常任委員会

平成22年度 国勢調査

平成22年度は、5年ぶりの国勢調査が行われ、前回比910人の人口減少となりました。7%の減少率となり、長野県(2%)の3.5倍です。

平成22年度 補正予算

平成22年度一般会計補正予算が、全員賛成で可決されました。
1,599万7千円の増額。
収入の主なものは、
開発公社解散による財産寄付として、3,130万円。
支出として、国民健康保険特別会計貸付金に、4,600万円などです。

統合小中学校 建設用地決定



新統合小・中学校建設に向け、用地取得が決定しました。

宅地2筆

田畑41筆 計43筆です。

現、佐久中学校敷地に隣接する19,551㎡です。

取得予定価格は、

1億5,523万円です。

本格的な建設に向け、見守っていききたいと思っています。

.....

統合に向けた各小・中学校間の調整のため、教育専門指導員1名の採用を決めました。

大変な作業になると思いますが、より良い学校作りに努力願います。

各小中学校へ扇風機導入!!!



固定式扇風機

昨年の夏の酷暑で、児童生徒への暑さ対策として、各学校へ扇風機が設置されることになりました。
移動式70台
固定式100台です。
約208万円の予算です。
地球温暖化の悪弊が、おもわぬ所に出てきた感があります。
できる所から、CO2削減にも取り組みたいものです。

委員会

社会福祉常任委員会

障がい者福祉施設「陽だまりの家」竣工

共同作業所「しらかば」と「ほほえみ」を統合し新たな就労支援活動を行う施設が、4月1日オープンしました。

海瀬四ツ谷の国道299号線から、茂来館への上り口、旧佐久穂町老人センター跡地です。

これまでの、二つの共同作業所の事業を引き継ぎ、新たに相談など地域の障がい者生活支援事業を行います。

施設を正面から見ると、左右に二つの建物が連結しています。向かって右側の大きな建物が、共同作業所の入る就労支援施設



陽だまりの家

で、左側の小さい建物が、相談やタイムケアなどを行う地域活動支援施設です。

建物の財源の55%が、県産材利用補助金で、可能な限り木材を利用して造られました。床には桧、壁の下側にはカラ松が用いられ、木のぬくもりに包まれています。

運営は、町の指定管理者制度により、民間の福祉事業者が委託されています。



調理室

町の福祉施設を 指定管理者に委託

平成23年度、町の福祉施設の多くは、これまでの事業の継続となっています。

「さやか」「こまどり」などの高齢者福祉施設、四ツ谷に新設の障がい者福祉施設の運営は、指定管理者制度により、それぞれ社会福祉協議会、ジェイエー長野会に委託となりました。現在それぞれの施設で働く職員は、そのまま継続して雇用されます。

介護の ニーズ調査

平成23年度は、3年ごとに見直しがされる介護保険制度の3年目にあたり、平成24年度からの事業計画策定の年です。新たな事業計画策定のため、介護のニーズ（求められているもの）調査が行われます。

国保税の引き上げ が避けられない

国保会計は、ここ数年赤字が続く、基金からの繰り入れで運営してきました。しかし、基金も底をつき、国保税の引き上げが避けられなくなりました。急激な負担増を緩和するため、一般会計からの借入れを行い、数年かけて収支の均衡を図っていきます。

訂正とおわび

前号の、訪問看護ステーションの記事で、社会福祉協議会に委託していたとありましたが、訪問看護事業は社協が独自運営していたものです。訂正をし、おわび致します。



委員会活動から

経済環境常任委員会



平成23年度 主な事業

- 八千穂簡水のうち松井地区について、老朽化のため全面改修を行います。
- 下海瀬・新田地区のコミブラ（下水道）は4月から南環に移管されます。
- 商工関係では、商品券のプレミアム分2,000万円、太陽光発電システム助成に500万円、従業員を新規採用した事業所に20人分として600万円交付などが主なものです。
- 農業関係では、鳥獣防護柵の550万円、アンテナさくほの特産品開発に700万円、匠の技伝承事業に78万円などです。
- 林業では、シカ駆除報奨金600頭分485万円、県森林税活用事業の、里山集約化に4地区で156万円、間伐助成に4.5haで202万5千円などです。
- 観光、道路関係はほぼ例年並みの事業です。

農業委員改選について

7月改選の農業委員の定数は24人で、内訳は選挙選出17人、農業団体推せん3人、議会推せん4人となっています。

共同園芸施設について の意見

高野町、勝負沢地区などにある、園芸用ハウス19棟について、委員会として意見を付して予算に賛成しました。

事業開始から30年近く経る中で、今後の運用としては、町の支払っている借地料は、できるだけすみやかに町の負担を減らしていくよう調整を計っていきたいというものです。



共同園芸ハウス

平成23年度 第1回 臨時議会

第1回臨時議会
が、1月31日に
開かれました

議案5件。

条例改正、一般会計及び特別会計と病院会計が内容です。

● 条例改正2件

老人福祉センター、デイサービスセンターの管理を、いずれも指定管理者が行うとするもの。

● 一般会計

緊急経済対策として交付金の配分に伴う1億9,483万円の増額補正。

● 老人保健施設特別会計

備品購入等805万円の増額補正。

● 病院事業会計

交付金配分に伴い、耐震補強工事等1,400万円の増額補正。

審議の結果、全員賛成で原案可決しました。

一部事務組合

議会報告

佐久水道 企業団

平成23年度
第1回定例会

一、条例改正2件
給水人口及び一日最大給水量の変更と、水道事業区域の編入に関するもの。

二、平成22年度補正予算事業の見直し及び決算に伴う修正補正。

三、平成23年度水道事業会計予算について。

四、一般質問は3人でした。

提出された案件は、原案どおり可決されました。



八千穂高原別荘の水道管布設替場所

佐久平環境 衛生組合

平成23年度
第1回定例会

一、条例改正
特殊勤務手当の支給に関するもの。

二、平成22年度補正予算各事業の精査による、補正。

三、平成23年度会計予算について。

提出された案件は、原案どおり可決されました。



南佐久環境 衛生組合

平成23年度
第1回定例会

一、平成22年度一般会計補正予算
各事業の精査により、増額補正。

二、平成22年度公共下水道事業会計補正予算
各事業の精査により、減額補正。

三、平成23年度会計予算
公共下水道事業特別会計予算について。

四、条例改正
議会常任委員会を、2委員会とするもの。

提出された案件は、原案どおり可決されました。

愛しき花 石井 忠雄 トルコギキョウ



戦後最悪の東日本大震災、震災に巻き込まれた数多くの皆さん、県内では栄村の皆さんに、心よりお悔やみと、お見舞いを申し上げます。ただただ頑張れとしか言えない自分に、もどかしさを感じております。

長野県の切花生産量の第4位が、トルコギキョウです。旧佐久町内では、トルコギキョウの生産者が2、3人位しかいなかった昭和60年頃、生産に着手した。当時は、良き指導者もなく、

生産者間でも、どうしたら良いか手さぐりの状態でした。なにしろ水が必要、毎日多量の水をくれろ、ハウス内に水を引き込めと言われて行った。良いわけがない。ハウス内の地温は下がる。地温を上げるためハウスを閉めておく。そして次の日も同じ事をする。だが、それを打破する術もない。そんな状態で作り始めたトルコギキョウ。自分はサラリーマン、昼間の管理は女房まかせ。苦労もあったと思う。しかし女房い



見事なトルコギキョウ

わく、良いトルコギキョウが出来るまで絶対に止めないの言葉で今まできた。とにかくトルコの花はやさしく愛しい。栽培当時から苗は自分で作ろうと奮闘した。種を選ぶにしても目移りする程の種類、色がある。良いと思ひ苗を作り植えてみたら、丈もとれず思つても出ない。とても出荷できるものではない。毎年毎年四苦八苦をしながらであった。最近では生産者も増え、JAの良き指導者もあり、生産者間の研修、視察等を重ねる中、今では自分のものになり、楽しくトルコギキョウの生産に取り組んでいる。もちろん当初からの苗作りも良くなり、すべての苗を作り上げている。どの様な作物を生産するにも同じだろうが、トルコギキョウの生産はあまく見てはいけない。わずかな事で生育が止まり、葉やけ、花やけ、花しみ、害虫、灰カビ病等が一夜にして出てしまう。その様な事に注意をしながら、老後の楽しみとし、新規栽培者とも連携をとりながら、最高の花を作り上げる。

2年間の 編集を終えて……

議会改選後、2年間の編集が終わりました。特別委員会として位置づけられた、編集委員会として最初の任期でした。

「読みやすく」「親しまれる」をモットーに定例会終了後、できるだけ早い時期に発行を目標として、編集をしてきました。

反省する点はいくつかありますが「楽しみに見えます」の声にはげまされてきました。今号で私達の任期が終わります。ご協力有難うございました。今後ともよろしくお願い致します。



編集委員長	小林 守正
副編集委員長	高見澤 春野
編集委員	今井 邦三
編集委員	井出 和廣
編集委員	浅井 正昭
編集委員	岡部 勝一

